

『伊能忠敬研究』 第30号 目次一覧

■頁 表紙は -1、表紙解説・目次は 0 としています。
 ■凡 例 [ジャンル] ●=日記 ■=史料・資料 ◎=伊能忠敬 ○=周囲の人物 △=史跡めぐり
 [表 題] 《 》=誤記の訂正 例：伊能図探究 第一〇号 伊能図見て歩き (三) 《(四) 正当》
 [] =内容の注記 例：伊能家文書紹介 十一 その二 枇榔嶋〔日向国臼杵郡〕

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日	
30号	表紙	1	表紙 伊能忠敬研究 二〇〇二年 第三十号 史料と伊能図	伊能忠敬研究会	30--1	20021021	
		2	表紙図解説 米国議会図書館蔵 伊能大図部分「徳島」付近	渡辺	30-0		
		3	目次		30-0		
	最近の話題	4	成田山仏教図書館創立百周年を祝す	渡辺 一郎	30-1		
			成田山仏教図書館は成田山新勝寺で運営する私立図書館で、館長は成田山新勝寺の貫主が兼ねておられる (伊能忠敬研究会 代表理事)		30-2		
		5	徳山市で「ミニ歩測大会」開催		30-9		
		6	北九州市の都市基準点が移設 伊能記念碑に (福岡市・石川清一氏より)	福岡市 石川 清一	30-23		
	7		都市基準点の完成まで (伊能忠敬記念碑建設実行委員会会長)	村井 純孝	30-24		
	◎芳名録より	8	芳名録より一佐原伊能家を訪れた人々ー 内ヶ崎 作三郎 (うちがさき さくさぶろう) 大正九年十一月二十二日《一月 正当》	伊能 陽子	30-25		
	研究ノート	9	平成六年九月 伊能小図 (旧海兵) の調査レポート 内容は、6号の次の「別冊」を参照 発見できなかった旧海軍兵学校蔵「伊能小図」副本 会報〔第七号〕発行以前のことでもあったので、記録に残すため再録する。体裁を整えるため〔横書きを縦書きに変更している〕編集部で若干加筆したことをお断りしたい	谷村 聖二郎	30-3		
			編集部	30-3			
○間宮林蔵	10	伊能家文書紹介 二ー 忠敬と間宮林蔵 (二) ゴロウニン事件 最後の出会い その後の間宮林蔵	安藤 由紀子	30-10			
		30-11					
		30-12					
○西村太冲	11	加賀藩天文暦学者 西村太冲 (三) 五、再び金沢へ (つづき) 《五のつづき》 3 金沢町測量事業 六、時制の改革 1 十二代藩主前田齊広 2 加賀藩の十三分割法 七、金沢での天体観測 1 ポンス彗星の観測 2 気朔暦の発行 八、太冲の死と後継者たち 1 門人たち 2 太冲の子孫たち よみがえる太冲	河崎 倫代	30-14			
		30-15					
		30-16					
		30-17					
		30-18					
		研究ノート		12	『伊能忠敬は長寿だったか』ー階層別からみた考察ー 一、はじめに 二、天皇四八・七才 貴族六五・五才 三、徳川将軍四九・六才 足利将軍三九・七才 四、大名・旗本六五・二才 五、武道家六二・七才 六、宗教家七〇・七才 芸術家・文学者七〇・七才 七、俳人六八・一才 八、探検家・学者六九・二才 九、一般庶民 調べる程にわからなくなる 一〇、茶人五三・三才 一一、女性七一・五才 一二、さいごに (結論) 以上の結果から伊能忠敬は階層別に比較して確かに長寿であった。一般庶民層を除き、今回抽出した三七八人の平均は六四・九八才であり、約九才長寿である	石川 清一	30-20
					30-21		
					30-22		
					30-23		

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日	
30号	研究ノート	12	生没年については次の二冊を参考にした 「日本史総合年表」加藤友康編 吉川弘文館 2001年刊	石川 清一	30-23	20021021	
			「日本史人物生没年表」日外アソシエーツ編集部編 紀伊國屋書店 1997年刊				
		13	多良海道（長崎脇街道）－その追分をめぐって－	松尾 紀成	30-26		
			図イ 肥前の長崎路		30-27		
			図ロ どれが正規の「多良往来」（長崎脇街道）か （まつお のりよし・佐賀県塩田町・長崎街道研究家）		30-32		
		14	講演要旨 伊能忠敬の測量した丹波丹後の道	小林 清	30-33		
			丹波・丹後の測量 二度行われている		30-36		
			丹後の道・丹波の道・歴史の道		30-37		
			天橋立くっきり 伊能の大図 忠敬も見たかった「炎の架け橋」 200年前の宮津描く （京都新聞）		30-39		
			高速道路の古代回帰 京都縦貫道は、むかしの京街道ルート （舞鶴市・舞鶴地方史研究会長）	小林 清	30-39		
			小野清さんが丹後・丹波地方の足跡紹介 忠敬が測量した経路と、現在の道路網や地形との関連を説明 「道の日」の八月十日 （朝日新聞）		30-39		
		●伊能忠敬と橋津〔文化03丙寅年第五次測量（1806）〕	15	伊能忠敬と橋津（1806～1814） 〔橋津西蓮寺の改修施主〕天野屋与兵衛と久世屋太兵衛（文化三年）	田中 精夫		30-40
				鳥取県における伊能隊の足跡			30-41
伊能忠敬の伯耆・因幡国測量	30-42						
橋津藩倉（鳥取池田氏の灘御蔵）の絶頂期 （鳥取県佐治村・鳥取大学教育地域科学部付属小学校）	30-43						
●愛媛県岩城島の文書〔文化03丙寅年第五次測量（1806）〕	16	地域史料 岩城島の文書〔伊能測量文書〕《その一》	伊藤 栄子	30-44			
		岩城島〔いわぎじま〕とその近辺		30-46			
		ここで米の値段を見てみよう。この文書では、ほぼ百文で一升五合の価。このころ江戸では一升百文位の時代が長く続いていた。それが慶応になると、百文で一合五勺しか買えなくなる。石高で生活していた武士の困窮を始め世の中騒然としてくる。このことから伊能隊が測量した十七年間は、まず平穏な時代だったといえる		30-50			
■江戸在住日記	17	伊能忠敬の江戸在住日記 九〔（第8次測量帰着以後）1816.01.02～1816.12.09（文化12.12.04～文化13.10.21）〕	佐久間 達夫	30-51			
		江戸府内測量の概要		30-55			
◎新・伊能忠敬物語	18	『新伊能忠敬物語 余話』 伊能測量隊の旅と旗本巡検使の通行	渡辺 一郎	30-58			
		はじめに					
		巡検使の規律		30-59			
		巡検使一行の人数		30-61			
		巡検使の旅費		30-63			
		巡検使一行の編成					
		接待					
		参考資料		30-64			
忠敬談話室だより	19	佐原の「伊能忠敬記念館」の看板が新しくなりました		30-64			
奥付	20	研究会案内・投稿規定・HP・編集後記（F）	（F）	30-65			
		21 2002年10月21日発行 伊能忠敬研究会		編集発行人 渡辺 一郎	30-65		
		22 裏表紙（英文目次）			30-66		